令和２年度新池田町病院事業改革プラン点検・評価事項

令和４年１月

北海道中川郡池田町

Ⅰ　総論

平成 29 年 1 月に「新池田町病院事業改革プラン」を策定・公表し、令和 3 年 3 月をもって計画期間 5 か年度が終了しました。令和 2 年度は、地域包括ケア病床の増床や専門外来（整形外科、人工透析、泌尿器科、皮膚科）の継続による外来診療の充実など、地域医療構想を踏まえた地域医療の役割を果たすための取り組みを実施することができました。

同改革プランでは、毎年度点検・評価を実施することとしていることから、令和２年度の取り組み状況について、下記のとおり点検・評価を行いましたので公表します。

Ⅱ　池田町病院事業の現状について

1　医療施設の状況

令和 2 年度の病院事業は、平成 23 年 10 月の指定管理者制度を導入後、通年の運営としては 9 年目の年度となりました。

医師については、今年度は、指定管理者である公益社団法人地域医療振興協会（以下「協会」という。）の他施設から 2 人の派遣を受け、常勤医師 6 人と非常勤医師 1 人を加え 7 人の体制により診療を行ってきました。薬剤師については、前年度と同様に常勤 3 人体制で運営を行ってきました。その他、看護師や理学療法士等のスタッフも充足されるなど、安定した医療提供のために医療スタッフの確保が図られており、指定管理者制度の導入による効果が表れています。

外来診療、入院診療の状況については、1 ページ「Ⅲ　地域医療構想を踏まえた役割の明確化」、5 ページ「Ⅳ　経営の効率化」の「（２）医療機能に係る数値目標」に記載しております。また、患者数の詳細については、6 ページに記載しております。

Ⅲ　地域医療構想を踏まえた役割の明確化

1　地域医療構想を踏まえての取り組み状況

地域医療構想を踏まえて十勝いけだ地域医療センターが果たすべき役割について、令和 2 年度に取り組んだ内容は以下のとおりです。

①　地域包括ケア病床を活用し回復期の機能を中心とした病床への転換

入院診療において症状が安定した患者に対し、在宅復帰等へ向けた経過観察やリハビリ等の効率的かつ密度の高い医療の提供を図るため、平成 28 年 4 月から一般病床 60 床のうち 10 床を地域包括ケア病床に転換し運用を開始しました。その後、平成 29 年 4 月から 8 床、平成 30 年 4 月から 2 床、10 月から 4 床、平成 31 年 4 月から 8 床、令和 2 年 10 月から 12 床を増床し、合計 44 床を地域包括ケア病床として運用し、症状が安定した患者に対し、在宅復帰等へ向けた経過観察やリハビリ等の効率的かつ密度の高い医療の提供を図りました。病床利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響も

あり前年度の 57.6%から 57.3%と若干減少しましたが、地域包括ケア病床運用前（平成 27 年度）の 45.4%と比較すると高い利用率を維持しており、地域包括ケア病床の利用率は今後も高く推移すると予想されます。

引き続き、病床利用率を向上させ、回復期の機能への転換を図っていきます。

② 人工透析や専門外来など住民のニーズに沿った医療の提供

外来診療については、内科・外科・小児科・リハビリテーション科の標榜 4 科目のほか、院内標榜として眼科、整形外科、人工透析、泌尿器科、皮膚科の診療を継続し、外来診療の充実を図りました。

この内、人工透析の患者数は、対前年度比 0.6%増（3,564 人／3,543 人）となっており、コロナ渦において診療控えがある状況にありながらも微増しております。但し、前年度に比べ待機者がいない現状を踏まえると施設整備の時期については、今後の患者数の推移を見極めながら検討していきます。

今後も住民ニーズに基づく、専門外来の維持に努めていきます。

③ 在宅医療の充実に向けた取組の強化

訪問リハビリテーションの患者数は、対前年度比 24.6%減（221 人／293 人）と昨年に引き続き減少しておりますが、これは訪問リハビリを利用していた患者が、東十勝訪問看護ステーションで実施する訪問看護の利用に移行したことが大きな要因です。

また、池田町小規模介護老人保健施設ぴりかにおいて実施している通所リハビリテーションと介護予防通所リハビリテーションについては、利用者数が対前年度比 0.9%増（1,492 人／1,479 人）と前年度とほぼ同様の数値となりました。

今後もこれまでの取組を継続し、在宅で安心に過ごせる基盤の維持に努めていきます。

2 地域包括ケアシステム構築に向けての取り組み状況

地域包括ケアシステムの構築にあたり、令和 2 年度に取り組んだ内容は以下のとおりです。

① 地域包括ケア病床の活用

令和 2 年度は、44 床（前年度から 12 床増床）を地域包括ケア病床として運用を行いました。このことにより帯広市内の関連病院等との連携が深まり、患者の紹介を受ける件数が増加しました。

今後も引き続き、患者紹介数の増加、病床利用率の上昇を目指し、帯広市内の病院、町内診療所、介護事業所等との連携をより強化し、地域包括ケアシステムを維持する取り組みを進めていきます。

3　一般会計負担金について

一般会計から病院事業会計への繰出金は、令和 2 年度は前年度から 237 千円減額の 253,077 千円となりました。減額の内容は、企業債の利子償還額が減額となったことによる企業債利子負担金の減額（825 千円減）と不採算地区病院負担金の増額（588 千円増）です。池田町病院事業経営健全化交付金 200,000 千円、眼科専門外来負担金 7,000 千円、人工透析負担金 39,516 千円については、前年度と同額となっています。

現時点では繰出金の考え方に変更はないものとして、引き続き、病院事業を円滑に運営できるように計画的な繰出しに努めるものとします。

○一般会計繰出金の推移　（単位：千円）

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
繰出金(収益的収支)		326,619	458,614	482,950	310,053	266,433	263,572
地方交付税措置額		179,043	188,097	195,018	167,560	174,816	186,982
	普通交付税	79,827	88,881	92,598	91,080	98,857	111,202
	特別交付税	99,216	99,216	102,420	76,480	75,959	75,780
実質一般財源負担額		147,576	270,517	287,932	142,493	91,617	76,590

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
繰出金(収益的収支)		258,895	257,194	254,371	253,705	253,314	253,077
地方交付税措置額		209,112	218,704	222,197	212,426	223,357	231,297
	普通交付税	133,332	142,924	141,257	127,946	130,417	128,877
	特別交付税	75,780	75,780	80,940	84,480	92,940	102,420
実質一般財源負担額		49,783	38,490	32,174	41,279	29,957	21,780

※決算統計ベース

4　数値目標の達成状況

紹介率については、令和 2 年度は前年度から 1.9%上昇し、14.6%となりました。逆紹介率は前年度から 7.7%上昇し、22.5%となりました。令和 2 年度は、一般病床 60 床のうち 44 床（前年度から 12 床増）を地域包括ケア病床に転換したことにより、前年度と比較すると紹介率・逆紹介率がそれぞれ増加となり、帯広市内の病院等との連携強化によるものと考えております。今後も東十勝地域の中核を担う医療機関として、他病院との連携強化を図っていきます。

在宅復帰率については、前年度から 0.6%減少し 83.3%となり、目標数値を下回ったことから、在宅復帰率の向上が図られる取り組みを進めていきます。

（単位：％・件）

	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績（目標）	平成 29 年度 実績（目標）	平成 30 年度 実績（目標）	令和元年度 実績（目標）	令和 2 年度 実績（目標）
紹介率	3.8	3.8 (3.9)	5.5 (4.0)	11.0 (5.0)	12.7 (5.0)	14.6 (5.0)
逆紹介率	12.0	16.1 (16.7)	14.7 (18.0)	14.1 (20.0)	14.8 (20.0)	22.5 (20.0)
在宅復帰率	87.9	88.3 (87.4)	89.6 (88.0)	86.3 (90.0)	83.9 (90.0)	83.3 (90.0)
救急患者数	1,614	1,504 (1,600)	1,322 (1,620)	1,287 (1,620)	1,177 (1,620)	791 (1,620)
後発薬品普及率	35.3	80.4 (80.0)	87.1 (80.0)	86.6 (82.0)	86.7 (82.0)	91.2 (85.0)

※（　）内は目標数値
※目標数値のうち赤文字は、平成 28 年度の点検・評価により当初計画から変更した数値
※後発薬品普及率は、平成 28 年度から診療報酬改定により計算方法が変更

5　住民の理解

令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に引き続き「医療センター夏祭り」を中止しました。今後の開催については、感染状況を鑑み安全を確保できる状況であれば、実施の可否を検討し、広く町民に親しまれる医療機関として、住民理解の浸透に向けた取り組みとして行います。また、同様に開催を中止した「町民医療講演会」についても、今後の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み実施の可否を検討し、住民の健康に対する意識の高揚と、健康づくりの支援に取り組みます。

Ⅳ　経営の効率化

1　経営指標に係る数値

（1）財務に係る数値目標

令和２年度の数値目標に対する実績は下記の通りとなりました。この内、医業収支比率は前年度と同数値となり計画数値を下回りましたが、これは、池田町病院事業が指定管理者制度を採用し経営を行っているため、医業収益は診断書等の発行手数料のみであり、その発行件数が前年度と同様に少なかったことが主な要因です。経常収支比率は前年度から 2.8％上昇し、計画数値を上回りました。

今後も地域医療構想を踏まえ、地域医療の役割を果たすため健全な経営に努めていきます。

○池田町病院事業における財政指標の実績と目標　（単位：％）

	平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績（計画）	平成 29 年度 実績（計画）	平成 30 年度 実績（計画）	令和元年度 実績（計画）	令和 2 年度 実績（計画）
経常収支比率	59.6	60.1	59.4 (59.4)	65.6 (65.0)	68.4 (68.3)	69.6 (70.1)	72.4 (71.7)
医業収支比率	0.2	0.3	0.3 (0.3)	0.4 (0.4)	0.4 (0.4)	0.3 (0.4)	0.3 (0.4)

※（　）内は計画数値
※計画数値のうち赤文字は、平成 28 年度の点検・評価により当初計画から変更した数値

（2）医療機能に係る数値目標

外来患者については、泌尿器科の患者数が増加し、人工透析・整形外科・皮膚科の患者数が前年度とほぼ同数となった一方で、内科・外科・リハビリテーション科・眼科の患者数が新型コロナウイルス感染症の影響で減少し、全体でも対前年度比 18.1％減（28,874 人／35,254 人）となりました。一日平均は 118.8 人となり、計画数値を下回ることとなりました。

入院患者数については、一般病床 60 床のうち地域包括ケア病床を 44 床と前年度から 12 床増床し、内科の患者数は前年度から微増となりましたが、外科の患者数が新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少し、全体でも対前年度比 0.8％減（12,545 人／12,647 人）となりました。一日平均の入院患者数は 34.4 人、病床利用率は 57.3％と、前年度から 0.3％減となりましたが、地域包括ケア病床の運用前（平成 27 年度）の 45.4％と比較すると高い水準を維持しており、導入の効果が表れています。今後も地域医療構想を踏まえ、病床利用率の向上に努めていきます。

平均在院日数は前年度から 3.5 日減少し、16.9 日となりました。今後も平均在院日数 21 日以内を維持していきます。

○十勝いけだ地域医療センターにおける指標の実績と目標

		平成 26 年度 実績	平成 27 年度 実績	平成 28 年度 実績（計画）	平成 29 年度 実績（計画）	平成 30 年度 実績（計画）	令和元年度 実績（計画）	令和 2 年度 実績（計画）
外来患者数（1 日平均）（人）		124.1	125.5	120.9 (119.7)	116.8 (120.0)	121.2 (120.0)	120.3 (120.0)	118.8 (120.0)
入院患者数（1 日平均）（人）		29.3	27.2	36.5 (36.7)	34.7 (38.0)	33.9 (39.0)	34.6 (39.0)	34.4 (42.0)
病床利用率（%）		48.8	45.4	60.9 (61.2)	57.9 (63.3)	56.5 (65.0)	57.6 (65.0)	57.3 (70.0)
平均在院日数（日）		19.6	18.5	18.7 (19.0)	16.0 (18.5)	14.7 (18.5)	20.4 (18.0)	16.9 (18.0)
救急患者	取扱件数(A)（人）	1,563	1,614	1,504 (1,600)	1,322 (1,620)	1,287 (1,620)	1,177 (1,620)	791 (1,620)
	救急車搬入(B)(人)	238	242	177 (200)	200 (240)	205 (240)	174 (240)	202 (240)
	他院転送(C)（人）	18	13	21 (20)	24 (20)	22 (20)	14 (20)	22 (20)
	受入率((A-C)/A)（%）	98.8	99.2	98.6 (98.8)	98.2 (98.8)	98.3 (98.8)	98.8 (98.8)	97.2 (98.8)
健康診断	実施件数（人）	1,220	1,413	1,592 (1,520)	1,653 (1,750)	1,549 (1,850)	1,427 (1,850)	1,627 (1,850)
	特定健診（人）	236	265	307 (320)	353 (330)	399 (350)	371 (350)	287 (350)
	企業健診（人）	694	651	755 (700)	740 (840)	808 (900)	851 (900)	959 (900)
	その他（人）	290	497	530 (500)	560 (580)	342 (600)	205 (600)	381 (600)

※（　）内は計画数値

○外来患者数の推移　（単位：人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内科	21,601	20,609	19,458	19,709	19,706	20,176	19,970	19,345	20,252	20,253	16,933
外科	9,528	7,176	4,465	3,968	3,880	3,813	3,494	3,385	3,317	3,476	3,075
小児科	745	2,285	3,050	2,933	2,165	2,454	2,176	1,890	1,844	1,946	915
ﾘﾊﾋﾞﾘ科		3,808	8,307	7,150	6,326	5,682	4,527	4,208	4,187	3,215	1,594
小計	31,874	33,878	35,280	33,760	32,077	32,125	30,167	28,828	29,600	28,890	22,517
眼科		409	1,088	1,449	1,511	1,531	1,426	1,416	1,559	1,281	1,141
整形外科				1,227	1,131	900	932	919	901	717	704
循環器科							83	83	45		
人工透析			148	1,252	1,772	2,353	2,825	2,968	3,272	3,543	3,564
泌尿器科										394	528
皮膚科										429	420
合計	31,874	34,287	36,516	37,688	36,491	36,909	35,433	34,214	35,377	35,254	28,874
訪問ﾘﾊﾋﾞﾘ				186	843	1,076	1,608	1,392	458	293	221
高島診療所	638	645	601	534	517	454	331	297	253	211	123

※平成23年度は、池田町立病院（平成23年4月～9月）と十勝いけだ地域医療センター（平成23年10月～平成24年3月）を合算した患者数。

※眼科：平成23年10月から診療開始。　人工透析：平成25年1月から診療開始。
整形外科：平成25年4月から診療開始。　訪問リハビリ：平成25年9月から開始。
循環器科：平成28年4月から診療開始、平成30年10月から休診。
泌尿器科：平成31年4月から診療開始。　皮膚科：平成31年4月から診療開始。

○入院患者数の推移　（単位:人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内科	4,880	7,400	8,262	8,674	8,393	9,361	13,176	12,622	12,363	12,487	12,489
外科	933	1,182	1,876	1,589	2,281	597	158	40	9	160	56
小児科	19	21	14	42	20	5	0	13	6	0	0
一般病床計	5,832	8,603	10,152	10,305	10,694	9,963	13,334	12,675	12,378	12,647	12,545
療養病床計	14,310	5,984	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	20,142	14,587	10,152	10,305	10,694	9,963	13,334	12,675	12,378	12,647	12,545

※平成23年度は、池田町立病院（平成23年4月～9月、80床）と十勝いけだ地域医療センター（平成23年10月～平成24年3月、60床）を合算した患者数。

※療養病床は、平成23年9月で廃止。

Ⅴ　再編・ネットワーク化の取り組み

再編・ネットワーク化に向け、令和２年度に取り組んだ内容は以下のとおりです。

①　地域包括ケア病床を 44 床（前年度から 12 床増）とし、帯広市内の基幹病院等での急性期治療を終えた、回復期の患者の受入れ体制を整備した。

②　帯広市内の病院との連携を深め、整形外科・泌尿器科・皮膚科・内視鏡検査等において医師派遣の支援を受け、専門的な外来診療を維持した。

Ⅵ　経営形態の見直しに対する方向性

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により外来患者数が大幅に減少し、入院患者数も減少となりました。これによる減収を補うため、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した「池田町病院事業持続化支援交付金」（15,000 千円）の支援を受けました。そのほか経費削減や収入確保などの経営努力の結果、指定管理者の令和 2 年度の決算は黒字となりました。指定管理者の安定した運営は、病院としての機能だけではなく、過疎地域における雇用の安定、住民が生活する上での安心を築くことに繋がっています。

また、総合医を中心とした医師の持続的な確保が行われているほか、人工透析、眼科、整形外科、泌尿器科、皮膚科の診療が継続され、住民のニーズに応じた医療サービスを提供することができました。

現時点では経営形態の方向性に変更がないものとして、引き続き、民間的経営手法による業務改善や医療従事者を確保することにより、安定した医療サービスを提供し、町民の皆様に安全と安心を確保し、親しまれる病院を目指していきます。

（別　紙）

1．収支実績（収益的収支）　　（単位：千円、％）

		平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績）
収入	1.医業収益　a	1,086	1,300	1,148	1,537	1,680	1,097	1,097
	(1)料金収入	0	0	0	0	0	0	0
	(2)その他	1,086	1,300	1,148	1,537	1,680	1,097	1,097
	2.医業外収益	289,383	289,193	281,571	277,324	276,651	276,288	298,080
	(1)他会計負担金	13,285	258,895	257,194	254,371	253,705	253,314	253,077
	(2)他会計補助金	250,287	0	0	0	0	0	0
	(3)国道補助金	0	0	0	0	0	0	22,852
	(4)長期前受金戻入	24,523	24,362	23,376	22,916	22,916	22,965	22,140
	(5)その他	1,288	5,936	1,001	37	30	9	11
	経常収益　(A)	290,469	290,493	282,719	278,861	278,331	277,385	299,177
支出	1.医業費用　b	438,056	429,685	429,440	418,193	400,515	392,416	407,488
	(1)職員給与費	0	0	0	0	0	0	0
	(2)材料費	0	0	0	0	0	0	0
	(3)経費	253,005	248,964	248,749	249,003	249,127	248,538	271,206
	(4)減価償却費	184,948	180,648	180,359	156,492	151,354	141,640	133,910
	(5)その他	103	73	332	12,698	34	2,238	2,372
	2.医業外費用	49,685	53,427	46,663	6,914	6,300	5,883	5,831
	(1)支払利息	12,564	11,735	9,810	6,891	6,264	5,858	5,033
	(2)その他	37,121	41,692	36,853	23	36	25	798
	経常費用　(B)	487,741	483,112	476,103	425,107	406,815	398,299	413,319
経常損益　(A)−(B)　(C)		△ 197,272	△ 192,619	△ 193,384	△ 146,246	△ 128,484	△ 120,914	△ 114,142
特別損益	1.特別利益　(D)	23	0	0	0	0	0	0
	2.特別損失　(E)	785	0	0	0	0	0	0
	特別損益　(D)−(E)　(F)	△ 762	0	0	0	0	0	0
純損益　(C)+(F)		△ 198,034	△ 192,619	△ 193,384	△ 146,246	△ 128,484	△ 120,914	△ 114,142
累積欠損金		640,092	832,711	1,026,095	1,172,341	1,300,825	1,421,739	1,535,881
不良債務	流動資産　ア	327,360	297,372	262,147	272,930	273,683	275,334	279,326
	うち未収金	1,074	5,686	884	11,643	1,883	2,653	5,382
	流動負債　イ	143,775	163,439	108,669	110,440	130,468	127,355	131,802
	翌年度繰越財源　ウ	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意債で未借入又は未発行の額　エ	0	0	0	0	0	0	0
	不良債務（イ−エ)−(ア−ウ）オ　オ	△ 183,585	△ 133,933	△ 153,478	△ 162,490	△ 143,215	△ 147,979	△ 147,524
単年度資金収支額		△ 179,797	△ 49,652	19,545	9,012	△ 19,275	4,764	△ 455
経常収支比率		59.6	60.1	59.4	65.6	68.4	69.6	72.4
医業収支比率　a/b*100		0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3
不良債務比率　オ/a*100		△ 16,904.7	△ 10,302.5	△ 13,369.2	△ 10,571.9	△ 8,524.7	△ 13,489.4	△ 13,448
病床利用率		48.8	45.4	60.9	57.9	56.5	57.6	57.3

2. 収支実績（資本的収支）　（単位：千円、%）

		平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績）
収入	1.企業債	14,400	67,700	11,200	141,800	12,200	19,900	42,800
	2.他会計出資金	81,547	123,730	128,758	108,165	109,684	129,929	126,839
	3.他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0
	4.他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0
	5.他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0
	6.国（道）補助金	0	0	0	0	0	0	2,467
	7.その他	0	0	0	0	0	0	0
	収入計　a	95,947	191,430	139,958	249,965	121,884	149,829	172,106
	うち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額　b	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度分　c	0	0	0	0	0	0	0
	純計　a-(b+c)　(A)	95,947	191,430	139,958	249,965	121,884	149,829	172,106
支出	1.建設改良費	22,020	83,675	12,964	141,804	12,204	19,980	45,598
	2.企業債償還金	73,927	107,755	126,994	108,161	109,680	129,849	126,754
	3.他会計長期借入金	0	0	0	0	0	0	0
	4.その他	0	0	0	0	0	0	0
	支出計　(B)	95,947	191,430	139,958	249,965	121,884	149,829	172,352
差引不足額　(B)-(A)　(C)		0	0	0	0	0	0	246
補てん財源	1.損益勘定留保資金	0	0	0	0	0	0	0
	2.利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0
	3.繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0
	4.その他	0	0	0	0	0	0	246
	計　(D)	0	0	0	0	0	0	246
補てん財源不足額(C)-(D)　(E)		0	0	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入又は未発行の額　(F)		0	0	0	0	0	0	0
実質財源不足額　(E)-(F)		0	0	0	0	0	0	0
企業債残高		1,766,940	1,691,065	1,539,452	1,573,091	1,475,611	1,365,662	1,281,708

3. 一般会計からの繰入金の実績　（単位：千円）

	平成26年度（実績）	平成27年度（実績）	平成28年度（実績）	平成29年度（実績）	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績）
収益的収支	(256,134) 263,572	(5,585) 258,895	(4,775) 257,194	(3,433) 254,371	(3,124) 253,705	(2,926) 253,314	(2,517) 253,077
資本的収支	(40,561) 81,547	(61,649) 123,730	(64,158) 128,758	(53,857) 108,165	(54,612) 109,684	(64,730) 129,929	(63,420) 126,839
合計	(296,695) 345,119	(67,234) 382,625	(68,933) 385,952	(57,290) 362,536	(57,736) 363,389	(67,656) 383,243	(65,937) 379,916

※　(　)内は、うち基準外繰入金額。
※　「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」（総務省自治財政局通知）に基づき一般会計から病院事業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう。